

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

睦地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

★地域によって状況は異なるものの今年度も継続して「新たな担い手の発掘・地域住民の主体的な福祉活動の促進」「地域住民の健康増進・意欲向上」を重点におき事業展開を行いました。

計画①地域の担い手や活動を増やすために様々な関わりを持ち、幅広い取り組みの中で地域の方々をサポートする。

報告①キャラバンメイト（睦オレンジ）や介護・認知症予防（スリーA）は継続して定例会を開催、サポートを行いました。

計画②健康の維持・向上を目的とした介護予防に関する活動に取り組みます。

報告②地域住民の健康増進意欲向上に視点を置き、介護予防教室や保健活動推進員と連携し、身近なコミュニティハウス等で講座を開催。学ぶ楽しさと次の活動参加に繋がる様取り組みました。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

計画①高齢者、障害児・者、児童分野からの多種多様な相談に応じることが出来る様に職員間の連携、情報の共有化、研修受講、社会資源の把握等を今年度も継続して行います。

報告①高齢・障害・児童の分野で広く関わるよう事業展開に努めました。相談の傾向から高齢では遺言講座や介護予防、障害では理解講座の継続化、児童では子ども食堂の後方支援を行い、活動の周知に繋がっています。

計画②広報紙やホームページ等を活用し、ケアプラザの相談機能に関しての説明や、幅広い分野に対応した活動を行っている事を周知していきます。

報告②広報紙は隔月で発行し、ホームページの情報、ブログも適宜更新しました。

計画③区社会福祉協議会、行政、関係機関等との連携に努め、関係者間で協力しながら多様な相談に対応出来るような体制づくりを進めていきます。

④関係団体との合同会議や地域活動の場等に積極的に参加し「顔の見える関係作り」に努め、相談を受けやすい環境の構築を図ります。

報告③④関係機関とは常に連携し、地域の繋がりを重視し職員の意識付け、取り組みを心掛けました。

(3) 各事業の連携

- 計画①地域包括、地域交流、生活支援の専門性を活かした自主事業を企画・実施する等、協働での取り組みを継続します。
- 報告②認知症の予防や介護予防等の事業に関しては、協働で企画運営を行いました。
- 計画②毎月各部門で合同会議を行い、計画的に事業や地域への参加ができるように企画・調整をしていきます。
- ③それぞれの部門で把握している情報や課題等は部門間で共有をし、協働で課題解決やニーズの把握に向けた取り組みを行います。
- 報告②③毎月5職種合同の会議を開催し、地域の各種イベントの情報や課題を共有しどのような事業に繋げるのが効果的か意見交換を行いました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 計画①ケアプラザ実施要綱に基づき、欠員無く職員配置をします。
- 報告①法人内職員の異動により、包括支援センターの主任介護支援専門員が1ヶ月間不在となりましたが、ケアプラザ全体でフォローしました。
- 計画②職員育成の一環として毎月職員会議内で、研修受講をした職員が講師役となり、振り返り研修を行います。
- 報告②研修を受講した職員が、研修内容をフィードバックすることで内容の再確認すると共に職員の知識向上や情報の共有化を図りました。
- 計画③職員の勤続年数や階層別に研修を計画し、新人職員から管理者まで幅広く受講できる様に組み立て、人材の育成に繋げていきます。
- 報告③法人内の階層別研修に基づき、研修計画をたて実施しました。
また、事業所や団体に関しては、公正・中立な選択を行いました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 計画①地域のネットワーク構築のため様々な会議（町内会長会議、地区社会福祉協議会会議、民生委員児童委員協議会、友愛活動推進員会議、地区別計画企画会議等）に参加し、顔の見える関係作りに努めます。
- 報告①地域で開催される会議には、職員が適宜参加させて頂き、ケアプラザの活動の周知や包括ケアシステムについての説明をしました。
- 計画②様々な地域課題に対応できるようにネットワーク連絡会を開催し、緩やかな地域の見守り活動の展開を目指します。
- 報告②「堀睦を明るくする会」を今年度は実施することができませんでした。包括版の地域ケア会議に於いて、地域住民の方々から活発な意見を頂きました。
- 計画③地域の防災拠点会議や防災訓練に参加し、防災を通じた地域との連携にも努めていきます。
- 報告③町内会、防災拠点の防災訓練にも参加し防災を通じて地域の連携に努めました。
- 計画④地域住民が集う為の場所づくりとして、高齢者サロンの創設に向けた準備会や子育てサロンの支援を進めていきます。
- 報告④高齢者サロンの創設に向け、何度も協議の場を設けてまいりました。今後も具体化に向け各関係機関と連携して実現を目指します。
- 計画⑤地区社会福祉協議会の様々な事業、会議、催し、広報紙発行などの協力を継続し、住みやすい街づくりに向けた活動を共に行っていきます。
- 報告⑤今年度も地区社会福祉協議会の会議の参加や事業の後方支援を行う等、共に元気な街づくりを目指しました。
- 計画⑥近隣の福祉施設と連携し、お互いの強みを活かした活動へのコーディネートを行います。
- 報告⑤コミュニティハウスや更生施設と連携し、子ども食堂の後方支援や認知症サポーター養成講座を開催しました。

(6) 区行政との協働

計画①第3期地域福祉保健計画や南区区政運営方針などに基づき、区及び区社会福祉協議会と地域の実情を踏まえた「街づくり」に向けた連携を行います。

報告①南区役所地域振興課と「まるごとみなみ施設間連携事業」にて協働し、区内において障がいの理解の啓発を行いました。

計画②自主事業の情報共有、運営にあたっての相談及び内容検討を行います。

報告②ケアプラザの自主事業については、行政が作成した人口の推移や地域のアセスメントシートをもとに行政と協働で取り組みました。

計画③地域包括支援センターで関わる困難ケース等の個別支援は、毎月の区との定例会や支援会議で情報共有や支援の方向性を検討します。

報告③毎月1回地域包括支援センター・生活支援コーディネーターと定例カンフェレンスを開催し、ケースの検討や地域の情報・課題の共有を行いました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

計画①地域のサロン・自主活動グループの後方支援を継続していきます。

報告①ケアプラザ内外を問わず、担い手の負担の軽減と会の発展を考慮した方法を考え、アドバイスすることでの支援を中心に行ってきました。様々な機関との連携で団体の叶えたい事が現実となり、お互いが良くなるように工夫してきました。

計画②地域のサロンに同調した事業を展開していきます。

報告②地域でのサロンが立ち上がった時に助けとなるような準備を考えながら事業を展開してきました。

計画③住民が参加しやすく、地域活動の担い手育成となる自主事業の企画を地域のニーズに沿って進めていきます。

報告③「子どもに対して何かしたい」という多くの地域ニーズに対して子どもの居場所の開催や寄付が分配出来る仕組みを支援してきました。コアとなるメンバーに対しては効率良く運営出来る方法や負担軽減の方法をアドバイスすることで運営が行いやすい環境を作ることで、担い手が参加しやすい環境作りを行いました。

計画④自主事業参加者にボランティア活動への参加を促します。

報告④子どもの居場所を軸に役割を作りだし、積極的に声掛けを行いました。ニーズの高い内容の講座に関しては、あらかじめ自主化を前提として募集することで、スムーズな団体形成へ繋げることが出来ました。

計画⑤地域包括支援センターと協働で地域の会館などに出向き、出前講座を行います。

報告⑤地域の食事会や地域主催のサロンに包括支援センター職員と共に出向き、ケアプラザ事業の案内や取り組みの紹介を行いました。認知症サポーター養成講座では、啓発団体の睦オレンジの意欲が実現するような支援を行って来ました。

計画⑥介護者の集い、認知症サポーター養成講座、高齢者支援の講座を包括支援センター、生活支援コーディネーターと協働で行います。

報告⑥堀ノ内睦町地区、蒔田地区の老人会、更生施設、民衆館の要請に対して、認知症サポーター養成講座を協働で行いました。

計画⑦閉じこもりがちな高齢男性が参加出来る自主事業の企画を検討します。

報告⑦男性の料理教室、健康麻雀など男性ニーズの高い講座の開催しました。来所を機会にボランティア活動や他の事業への参加を促すことが可能となり、複数の機会での参加が実現しました。夫紹介で妻も別の講座に参加する場合もあり、参加者の増員に繋がりました。

計画⑧子どもから高齢者まで幅広く参加出来る講座を企画し、異世代交流を行います。

報告⑧共催で行っている「わいわい食堂」では、子どもが集まることで、若い世代から高齢世代まで幅広く集まっています。同じ会場にすることで、自然と異世代交流が行われています。

計画⑨近い将来の超高齢化社会に向けて、高齢者の居場所作りに繋がる事業を継続し、地域で開催される高齢者サロンへのアドバイスに繋がります。

報告⑨いきいきシニア塾、コーヒーの入れ方講座などを継続し、サロン立ち上げの際には講師の紹介やイベントの紹介が出来るように準備しています。

計画⑩ケアプラザに足を運びにくい世代の小学生が自主事業をきっかけに地区社会福祉協議会や他の自主事業へ参加してもらえるような事業を行います。

報告⑩子どもの居場所「わいわい食堂」を共催することで、小学生の参加と小学生の親の世代がケアプラザへ足を運ぶ機会が増えました。就園児や未就園児も参加することで、あらゆる世代に対してケアプラザを周知する機会となり、地区社協イベントや自主事業の周知を行うことが出来ました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

計画①地域のニーズを把握し、必要な自主事業を地域に寄り添いながら実施していきます。

報告①「子どものために何かしたい」というニーズに対しては「子ども食堂」の開催。「障がいがあっても地域と繋がりたい」というニーズに対しては、「障がいのある方の地域との交流事業」で地域サロンでのボランティア活動。「育児をしていて運動の機会がない」というニーズに対しては、骨盤底筋を鍛える講座を行いました。

計画②貸し館状況の空き情報は常に更新し、受付カウンターとホームページに開示していきます。

報告②貸し館状況の空き状況をブログやホームページ上で公開するシステムへ変更になりました。パソコンの苦手な高齢者も見ることが出来るようにカウンター前には、ホームページ更新と同時に紙面で掲載することとしています。ブログを活用して若い世代に対しても事業の様子が伝わるようになっています。

計画③多くの方々が快適に施設を利用して頂けるように、施設内外の整備や職員の接遇、育成を行なっていきます。

報告③毎朝、職員による環境整備と専門業者による定期的な清掃で施設の清潔維持を行っています。接遇に関しては、気付いた時に職員同士で注意しお互い気を付けるように心がけています。

計画④地域の住民が貸館利用がしやすくなるように、定期的に貸館利用の手引きを見直します。今までのように団体同士のトラブル等なく運営をしていきます。

報告④貸し館ルールの変更にともない一部変更を行いました。29年度は大きなトラ

ブルは無く運営する事が出来ました。利用団体の増加やチラシを活用したPRを勧めることでコミュニケーションボードの利用が増えました。掲載範囲の拡大を行うことでより多くの団体の利用が可能となりました。利用希望が重なった場合は、他の部屋などを案内することで稼働率の上昇と団体の活動の活性化を行いました。

計画⑤ 団体説明会を実施し適切な利用が出来るよう貸館団体へ周知を続けて行きます。

報告⑤ ボランティア会として、各貸し館団体の代表に参加して頂きエコキャップの仕分け会を行っています。団体同士、気軽に話をしながら作業に取り組んでおり、団体間の交流に繋がっています。集まった際に利用に対しての疑問を聞くことで共通の質問として回答しています。

計画⑥ 近隣で活躍している自主活動団体や地域の団体へケアプラザでの貸館をPRし稼働に繋げて行きます。

報告⑥ 近隣の団体へ聞き取りを行い利用料などが運営の負担になっている場合など利用要件を伝えたい、利用を勧めています。子どもの居場所などを何かを始めたいと考えている団体と交流することでケアプラザを利用するの開催を提案しました。

計画⑦ 貸館団体がより発展できる方法を団体と一緒に考え、高齢化による人数の減少を抑える動きをします。

報告⑦ 自主事業に集まった興味のある人に対して、貸館団体のPRを行います。利用申込み方法の提案や活動維持のための提案を行ってきました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

計画① 地域で活動しているボランティアの方々に、ケアプラザ自主事業・ケアプラザ祭りなどへの協力を依頼、活動支援、育成を支援して行きます。

報告① ケアプラザ祭りは、地域住民の方と貸し館団体からボランティア募集をし、ケアプラザ祭りや自主事業の担い手となって頂きました。自主事業のOBにも声を掛けしボランティアとして活動して頂きました。地域で社会資源が必要と思っている人に対して相談を受けることでニーズを整理し社会資源の創設を推進して来ました。他の団体などとの協働をきっかけとして人材の発掘を行いました。

計画② ボランティアの募集内容が分かるように貸館団体向けに掲示し、自主的にボランティア活動を行うきっかけになるように働きかけます。初めてボランティアに参加するきっかけとして、ケアプラザ祭りやエコキャップボランティア会など参加しやすい活動への誘致を積極的に行い他のボランティア活動へ繋がるようにして行きます。

報告② エコキャップボランティア会を通じて、ボランティア同士での交流が持てるように努め、多くの方に参加していただく事が出来ました。館内へ必要しているボランティアの情報を掲示しボランティアの機会を提供しています。

計画③ 南区社会福祉協議会ボランティアセンターと協力してケアプラザで行われるボランティア活動の受け入れを積極的に行います。

報告③ ボランティアの受け入れ先を子どもの居場所で作りだすことで、あらゆる種類の内容を用意することが出来ました。「何かしたい」に対しての提案し選んでもらうことで、活動に結びつく可能性を広げました。

計画④ 医療系専門職の実習等を積極的に受け入れ、ボランティア育成を目指します。

報告④看護学生の実習生、社会福祉士の実習生を受け入れ、ケアプラザの役割の周知に努めました。

計画⑤近隣の事業所の協力を得てボランティア講座などを企画し、新たなちよこつとボランティア団体の立ち上げに繋がる活動を行っていきます。

報告⑤制度の隙間を埋める活動に対しては、すでに近隣で形成されており、活動が行われている。介護事業所などでも生活についての取り組みが進んでいるため、ケアプラザでは活動が重複しないように余暇を支援と活動意欲の維持が可能な団体の形成を行いました。

計画⑥地域の要望に応じ、ヨコハマシニアボランティア育成事業の研修を継続します。

報告⑥地域からの要望が無かったため、実施なし。

計画⑦区役所・南区社会福祉協議会と連携して、小・中学校での福祉教育の実施を目指します。

報告⑦学校からの依頼が無かったため実施なし。

計画⑧近隣の障がい者作業所と連携し、地域のボランティア団体における当事者によるボランティア活動を続けます。地域住民と障がい当事者の交流が図れる地域を目指します。

報告⑧蒔田地区の高齢者サロンでは、担い手のメンバーとして活躍しています。担い手に高齢者が多いなか、若い力で補うことが出来ています。当事者には仕事として参加してもらうことで就業意識を高めることが出来ています。堀ノ内睦町地区では、食事サロンにて担い手として活躍しています。サロン自体の運営改善になりました。地域住民と障がいのある方がふれ合うことで障がいについての啓発に繋がっています。3年間行ってきたなか、来客者と障がいのある方との交流も生まれ、今では会話も増えています。

計画⑨後方支援団体へは、無理なく長く続くような適切なアドバイスを続けながら発展するように支援を行っていきます。

報告⑨団体が希望する活動が安全に行われるような方法を提案し、無理なく続くような運営の方法をアドバイスや必要な情報提供や環境の整備などを行い負担軽減を行ってきました。

計画⑩近隣の福祉関連施設と連携し、お互いの強みを活かしたボランティア活動が行えるよう支援していきます。

報告⑩障がい理解講座を南区内の他の施設で行いました。層の違う様々な参加者の啓発へ繋がりました。活動自体が広まることで、区内での講座の開催依頼も増えました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

計画①ケアプラザの事業や福祉保健活動の内容を掲載した広報紙を隔月発行し、様々な情報を地域の方々に提供します。広報紙・チラシを地域の食事会やその他のイベントに持参しPRします。自主事業のチラシを町内会の掲示板へ掲載依頼します。来館者、貸館利用者、自主事業参加者、スーパー・薬局・エリア内医療機関・障がい関連施設などへ配布し、多くの方に見て頂けるように工夫します。

報告①広報紙を隔月で発行（29年度は11,000枚）しております。内容としてケアプラザ自主事業の告知や地域のイベントの報告などケアプラザと地域の情報を掲載しています。地域包括支援センターからのお知らせも掲載し、生活や介護に役立つ情報も提供しております。地域で開催の食事会やイベント時に

持参し配布させて頂いたり、連合町内会会長会にて回覧依頼も行っています。近隣の人が集まる薬局・商業施設・福祉施設にも配布依頼を行っています。

計画②地域のイベント、祭礼、運動会、町内会長会議等に出掛け、地域の課題等の情報提供と情報収集を行っています。

報告②地域で行われるイベント等に参加し、多くの情報が得られるように、こまめにコミュニケーションを図り、必要とされるニーズの聞き取りが行いやすくなるように努めました。積極的な情報提供を行うことで新たな社会資源の立ち上げへ結びつきました。

計画③町内会館・高齢者マンションなどへ出向き、出前講座を行うことで、情報提供及び情報収集に役立てます。

報告③食事会や高齢者マンションにてケアプラザの役割について周知活動を行うとともに、身近で発生している犯罪などの一例などを伝えることで防犯の啓発を行いました。コミュニケーションを図ることで、地域からの情報収集も行うことが出来ました。

計画④貸館団体の活動が紹介できる場所を作り積極的な参加を促します。地域活動交流コーディネーターが間に入ることで団体間のネットワーク作りと交流の場の提供を行います。

報告④コミュニケーションボードへのサークルの紹介を貸館利用団体へ促すことで、団体の案内を掲示してもらいました。チラシ等が作成出来ない団体のチラシ作成をケアプラザで行い、活発な活動へ結びつくように支援しました。自主事業などの参加者へサークル活動の紹介なども積極的に行うことで参加人数が増えた団体もありました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

計画①「介護予防」「認知症予防」の幅広い理解のため、勉強会や講座の活動を通して、担い手の発掘と育成を行います。また、普及・啓発に向けて地域包括支援センター、地域交流と連携を図り、企業、民間、学校などへ講座の参加を勧めています。

報告①

・認知症予防を目的とした脳の活性化と脳のリハビリ『スリーA』を地域へ広める担い手育成のため、『スリーA 支援者研修会』を実施しました。新規の参加者が8名、既存のメンバーに関しては、『スリーA』の基本理念の理解を深めることができました。

新たな支援者8名が加わり、参加出来なくなったメンバーを除く、14名での活動となりました。

・「認知症キャラバンメイト」の会、『睦オレンジ』は、活動から3年目を迎え、29年度は新たに2名がキャラバンメイトに登録され、「認知症サポーター養成講座」の講師として活動しました。認知症になっても安心して暮らせる町づくり、認知症の方、そのご家族を見守り支える地域づくりを目指し、子どもから高齢者までが分かりやすく楽しい講座を、「睦オレンジ」のメンバーで考え工夫して開催しました。毎月の定例会及び講座は包括支援、地域交流との連携を図り開催しました。

計画②高齢者及び地域住民の「集いの場・交流の場づくり」と、「地域の支えあいの仕組みづくり」を目標とした地域住民主体の取り組みへ働きかけを行います。

報告②

・認知症予防「スリーA」の「スマイルの会」は、認知症予防の活動と平行し、認知症になっても同じように暮らせる町づくりと、認知症になっても参加でき

る場所づくりを目標に毎月の定例会を開催し、勉強会や研修に取り組みました。「スマイルの会」としての地域活動には29年度は至っていませんが、各メンバーが町内会の集いで活動を行いました

- ・地域住民主体の「集いの場」や食事、交流サロンが地域に開いた活動となり、地域全体が参加できるような拠点づくりを目標に、運営や地域貢献、地域活動について勉強会や視察会を行いました。また、行政やNPO法人などへ相談を行い、アドバイスをいただきながら、連携を図り協働するなど、後方支援としてケアプラザが伴走しました。

計画③地域住民や高齢者が特性を活かし、且つ活躍できる機会が持てるように働きかけ、社会参加への後押しと社会的孤立の防止に繋がります。

報告③

29年度、シニア男性の活躍の場・活動の機会づくりを目的とした自主事業「男性の料理教教室」を地域交流との共催で企画、実施しました。8名の参加者は料理の基礎を学びながら、活動を通して協力や協調性の関係性の構築を図り、地域活動やボランティア活動について話し合う機会を持ちました。次年度は、地域行事での担い手としての活動の方向性をメンバーで話し合っていきます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

計画①地域の季節行事や会議などに参加し、現状や課題を捉えていきます。

報告①

地域の方々からの直接の声や会議で聞かれる様々なご意見などから、日常生活に於ける不便なことや、高齢化に伴う不安や心配事などを拾い情報の整理を行いました。次年度は、ちょっとした家事などの生活支援に係る情報の発信や、ボランティア活動の仕組みづくりなど、地域にある社会資源とニーズを結ぶため取り組みます。

計画②要支援者に必要とされる生活支援のインフォーマルな地域資源の情報整理により、地域住民や近隣同士で取り組める活動を協働で行っていきます。

報告②

- ・29年度、南区生活支援COにより身近な日常生活の不便さを解決する「生活支援みなみプロジェクト」が立ち上がりました。高齢者の生活を支援する取り組みの第一段階として、今年度は「掃除」に特化した情報を収集・集約しました。30年度には地域へ広く情報の発信を行います。
- ・「地域活動・サービスデータベースシステム」が今年度より始まり、地域アセスメントの一環として地域活動の団体や、ちょっとした生活支援サービスの状況を把握するため情報の収集・集約を行いました。次年度、不足する情報の補足を行い、幅広い情報を集約することで、多職種で活用できるように話し合い、更に情報の充足を図ります。

計画③足りない「支え合いの仕組み」の創出に向けて、地域に於ける生活支援のニーズや課題を座談会や協議の場にて把握し、地域とケアプラザで情報の共有、協力のうえ解決方法を考えていきます。

報告③

買い物や外出の不便やニーズの解決に向けて、地域活動やボランティア活動（移動販売、休憩どころ、ちょっとした家事のボランティア）について話し合う場を持ち、地域住民とケアプラザで検討しました。引き続き、具体的な活動へ繋げるため、協議の場にて話し合っていきます。

(3) 連携・協議の場

計画① 単位町内会、または小さな規模での座談会や、話し合いの機会を持ち、地域での「支え合いの町づくり」の目的を共有し、仕組みの構築を協働します。

報告①

- ・ 買い物や外出の不便などの生活支援や、独居高齢者や認知症の方の見守り、「生きがいづくり」など地域で支える方法を地域住民と話し合う場を持ち、情報交換と共有を行いました。課題や目的を共有することで、地域住民同士がお互いに「支え合い」の意識を持つ機会になりました。
- ・ 地域住民が主体となる活動が常設化し、参加型の介護予防や生きがいづくり、高齢者の活躍の場づくりに繋げることを目的とした協議の場を開き、具体的な方向性について話し合いました。

計画② 「支え合いの町づくり」の取り組みの為に、整理した情報のマップ作成を協働して行います。

報告②

「住民支え合いマップづくり」について、蒔田地区・宮宿花エリアで計画を進め、30～50世帯で区分けを行い、各班長さんより実施の了解を頂きました。30年度は、世話焼きさんと参加者の選出を行い、日程調整など実施に向けて計画を再開します。

計画③ 地域包括、地域交流、地域住民との連携から把握した「徘徊」や「閉じこもり」などの個別ニーズを地域課題へ繋げます。

報告③

地域の事例を元に住民同士が意見交換を行い、身近な方やご近所の方への意識の持ち方や、早めの相談や包括へ繋げる大切さを考える機会を持ちました。

計画④ 「介護予防」を趣旨とする「スリーA」の活動団体が、自主的に地域の中で普及・啓発が行えるように、成長までの協働と連続的な後方支援を行っていきます。

報告④

今年度は、包括支援との連携のもと2回目の「スリーA 支援者研修」を実施しました。毎月の定例会では、勉強会やマニュアル作成を行いました。次年度は、一歩進んだ地域支援を目標として地域での交流の場での活動を計画します。

計画⑤ 地域の活動団体同士が交流を持つことで、情報交換を行い、活動に対する意識づけと活性化・拡充が図れるように支援していきます。

報告⑤

今年度、第2回目となる「グループ交流会」を包括支援との連携にて実施しました。今年度は、運動系と文科系が合同にて開催し、多様な活動の交流となり、お互いの情報交換の機会にもなりました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

計画① 地域の様々な課題に対応していけるように、地縁組織やNPO法人、民間企業など幅広い多様なネットワークを構築していきます。

報告①

民間の「まちづくり」などの専門機関や市民活動に係るNPO法人や行政への相談や勉強会、協働によって、情報交換や情報の共有を行いました。

計画② 認知症高齢者が地域での生活を安心して継続できるよう、地域全体で考え、支援体制をつくっていけるよう働きかけ、取り組みます。

報告②

認知症予防を目的としたスリーAの会「スマイルの会」は、認知症の方を見守るあたたかい町づくり・地域づくりと、認知症になっても参加できる場づくりを目指して活動しました。

計画③地域の伝統を守り受け継ぐため、担い手を育む取り組みや情報発信など、後世へ繋ぐ後方支援を行っていきます。

報告③

地域で行われる昔ながらの行事が世代毎に引き継がれ、続いていくように、CPでは地域で活躍できる担い手を生む機会づくりを行い、地域の多くの方へ知っていただくよう、広く情報発信を行いました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

計画①地域包括支援センター3職種（社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師）と地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターの5職種が情報共有と問題解決に向け連携することで、ネットワークの構築を図っていきます。

報告①5職種会議を発足し、各専門職の事業、取り組みや会議の参加などで収集した情報等の共有を行うことで連携の強化を図りました。

計画②地域の保健・医療・福祉など様々な機関・組織・社会資源を活用して地域支援事業を行なっていきます。

報告②食事会や単一の老人会、近隣の福祉施設と連携し地域包括支援センターの役割や活動の周知を行い、お互いに相談しやすい関係を構築いたしました。

計画③地域の社会資源の把握や創設に向けての地域課題の情報共有を行います（地域に不足している高齢者サロン・ボランティア活動等）。

報告③5職種連携して地域住民と地域ケア会議等を利用して情報収集の機会を設け、地域に不足しているサロンの必要性を共有し、今後の活動の具体化を目指しました。

計画④エリア内の医療機関・薬局・介護サービス事業所・施設・障がい関係施設との連携を図り地域ケア会議の出席依頼を行い、ネットワークの構築に努めます。

報告④隔月発行の広報紙を配布しながら、あんしんネットワークの周知を行いました。また介護事業所の運営推進会議等に参加し、お互いに抱えている問題を相談し解決に向け連携を図りました。

② 実態把握

計画①総合相談の相談経路、相談者、内容などの分析から課題を抽出し、地域の実情を把握していきます。

報告①総合相談実数 351件、延べ件数 1377件

昨年にも増して権利擁護に関する相談が多く、区やケアマネジャーと連携し、継続的な支援が必要でした。

成年後見制度利用や消費者被害に関する相談案件数 23件

虐待（疑いを含む）に関する相談案件数 14件

以上の結果を踏まえて、民生委員向けの虐待防止講座や司法書士による権利擁護に関する講座、個別相談会の開催をしました。

計画②個別地域ケア会議を重ねることによって、地域の課題を把握していきます。

独自様式によるアンケート調査（利用者満足度調査・自主事業ごと）を実施します。

報告②独自様式によるアンケート調査（利用満足度調査・自主事業ごと）を行い、抽出した要望をもとに H29 年度事業計画を作成しました。

③ 総合相談支援

計画①初回受付時から相談の経過を記録し、部署内で記録の内容を共有します。ミーティングやカンファレンス等では、支援の目的や内容について、3職種（社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師）の専門的な知識や技能を活かした協議を行い、適切な支援に取り組みます。

計画②相談内容を部署内で共有することで、受付者が不在でも他職員が対応し、支援が滞ることのないように努めていきます。

報告①②個別のケースについては、毎朝のミーティングで情報共有を行い、また困難ケースでは各専門職で支援方針を検討し、適切な支援に務めました。

計画③地域ケアプラザ全体で相談・支援に取り組んでいけるように、適宜他部署とのミーティングや記録等で支援内容の共有を行い、部署間の連携に努めていきます。

計画④社会資源の情報やマニュアルを整理し、職員間で共有することで、担当者によって対応が変わらぬよう、支援の均一化に努めます。

報告③④部署内、部署間で行われるミーティングにおいて、自主事業や地域の社会資源、行事や会議で収集した情報等の共有を行い、地域ケアプラザ全体で協力して地域支援に務めました。

計画⑤相談内容に応じて、区役所や専門機関等の適切な関係機関・制度につなぐ支援を行います。

報告⑤関係機関と必要に応じて同行訪問や支援方針決定のカンファレンスを開催し、協力して相談対応に務めました。

計画⑥民生委員や地域住民、関係機関から受けた相談については、同行での訪問や個別地域ケア会議の議題にする等常に連携を意識して支援に取り組み、地域包括支援ネットワークの構築に努めます。

報告⑥民生委員と連携し、同行訪問や地域ケア会議への参加を依頼し、地域の課題を共有することができました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

計画①高齢になっても自己決定に基づき地域での生活が送れるように支援していきます。「老後の自分と家族を守る」をテーマに、相続や遺言・高齢者の金銭管理について地域住民、サービス事業所・ケアマネジャー向け講座の開催と相談会を継続して開催します。

報告①司法書士会に講師を依頼し、遺言・相続をテーマに、地域住民向けの講座と個別相談会を開催しました。当日は南区版エンディングノートの配布も行いました。

計画②消費者被害防止を目的に、国民生活センターや消費者生活総合センター、警察から入手した新しい悪徳商法手口について、地域住民やサービス事業者等に発信していきます。情報ラウンジには見やすいように掲示やファイルをし、来館者に最新の情報を提供します。

報告②各機関から提供される最新の悪徳商法の手口については、情報ラウンジに掲示、過去の情報はファイリングをし、来館者が閲覧できるようにしています。実際の相談には消費生活総合センターと連携して対処しました。

② 高齢者虐待への対応

計画①高齢者虐待に対し適切な支援ができるよう、区役所と共に勉強会を企画・開催いたします。

報告①高齢者虐待防止事業の担当として区役所と共に、職員向け、新任ケアマネジャー向け研修の開催をしました。

計画②高齢者虐待の予防、早期発見・対応に取り組めるよう、区役所と協力し、地域住民やサービス事業所に向けた講座の企画・開催や広報等、普及啓発を目的とした情報の発信に努めます。

報告②高齢者虐待防止の普及啓発として、担当部会で作成したスライドを利用し、蒔田地区民生児童委員協議会にてミニ講座を開催。また、堀睦地区定期訪問事業連絡会、蒔田地区老人会でそれぞれ開催した認知症サポーター養成講座において、高齢者虐待のリスクについての話を織り込み、地域への虐待防止の理解・普及啓発に努めました。

計画③高齢者虐待についての相談があった場合は、南区版高齢者虐待相談受付票を利用し、速やかに区役所と情報共有を行い、状態把握およびカンファレンスを開催し対処します。

報告③虐待事例の相談があった場合には、虐待受付票を使用し、速やかに区と情報共有を行い、カンファレンスを開催して支援方針の検討を行いました。地域住民からの相談には個人情報保護に留意し、適切に対応する様努めました。

③ 認知症

計画①認知症になっても安心して暮らせる地域を目指し、認知症の普及啓発のためのボランティア育成や、地域のキャラバンメイトの定例会を開催すると共にサポーター養成講座開催に取り組んでいきます。

報告①定例会を月1回開催し、サポーター養成講座を地域活動交流・生活支援COと連携して開催しました。(老人会・コミュニティハウス・民衆館の計3回)

計画②認知症担当部会へ参加し、区役所や他の地域包括支援センターとの情報共有をして、協力していきます。

報告②認知症担当部会へ参加し、区役所や他の包括と情報共有をして、協力していきます。

計画③徘徊認知症高齢者対応(あんしんネットワーク)の普及啓発をし、認知症高齢者が行方不明になった際の早期発見を目指します。

報告③地域の会議やケアマネ連絡会の際に周知を行い、普及啓発に努めました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

計画①地域の会議や食事会等で介護保険や権利擁護・介護予防についての講座を継続して行い、地域包括支援センターの役割の周知や連携推進に努め相談しやすい関係作りを継続していきます。

報告①地域の各会議には、職員が交代で出席し、地域包括支援センターの役割を周知しました。地域密着型のデイサービスやグループホームの運営推進会議にも出席し、連携を深めることができました。

計画②地域の民生児童委員・保健活動推進員・友愛活動推進員・区役所・医療機関を交えた情報交換会やケアマネジャーとの交流会を行い地域のネットワークの構築に努めます。

報告②情報交換会や交流会を行い、ネットワーク構築に努めました。民生委員からの相談や同行訪問が増え、地域との関わりを深めることができました。

計画③地域の実情や特性、課題を共有し「地域ケア会議」を開催します。
報告③今年度も引き続き、認知症・独居高齢者について地域住民を交えて地域ケア会議を開催しました。(個別版2回・エリア版1回)
計画④広報紙に地域包括支援センターからの情報を掲載していきます。
報告④睦通信に事業の案内や地域包括支援センターの役割等の情報を掲載しました。

② 医療・介護の連携推進支援

計画①エリア内の調剤薬局・医療機関を定期的に訪問し、広報紙を設置していただき情報収集を行いケアマネジャー連絡会等で情報提供します。
報告①定期的に訪問することで、情報交換が出来るようになりました。薬局からの相談や心配な人を案内して頂くことができ、協力体制の強化ができました。
計画②区内全地域包括支援センター・区・あったかネット南と協働で医療機関との研修を行います。
報告②8包括支援センター・区との協働、また、あったかネットと協働でケアマネジャー向けの研修を行いました。
計画③ケアプラザ協力医と地域のケアマネジャーとのカンファレンスや事例検討会を定期的に開催し、医療との連携を図ります。
報告③毎月ケアプラザ協力医との事例検討会を小規模に開催しケアマネジャーが相談しやすい場を提供し、情報交換をしました。地域住民向けの講座を2回開催して気軽に医療について知る機会をつくりました。
計画④南区在宅療養支援ネットワーク会に参加し医療連携・他職種連携に努めていきます。
報告④南区在宅療養支援ネットワーク会の事務局として参加して、前期の総会にて活動報告を行った。ケアマネジャー連絡会においては、地域リハビリテーション活動支援事業を活用し、言語聴覚士による失語症の基礎知識の講義を行いました。

③ ケアマネジャー支援

計画①経験年数に合わせた新任ケアマネジャーの研修を行い、支援します。
報告①区・8包括の協働で約半年の長期にかけて、行政サービスの理解・施設見学等の実習を行いました。今年度は2名を担当しました。
計画②エリア内の居宅介護支援事業所を定期的に訪問し、困難ケースの相談や情報交換を行います。
報告②虐待ケースについては同行訪問し、区とも連携し事実確認やケアマネジャーとの関係性に注意しながら、家族対応に努めました。
計画③困難ケースは区役所・3職種(社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師)が連携し、サービス担当者会議に参加、同行訪問を行いケアマネジャーが一人で抱え込まないように支援します。また必要に応じて「個別地域ケア会議」に繋げ、地域住民と連携を図ります。
報告③継続的に支援が必要なケースについては、担当者会議に同席し、具体的な支援の方法について助言対応にあたりました。虐待ケースや成年後見制度の申し立てもあり、区の職員と連携し対応し、情報共有を行いました。
計画④エリア内、委託依頼しているケアマネジャーに参加を呼びかけ、ケアマネジャー連絡会において学習会や事例検討会を行います。
報告④ケアマネ連絡会は、12回行いお互いにケースの相談や情報交換を行いました。身近に相談できる場の提供として今後も継続していきます。
計画⑤区と南区8地域包括支援センター主任ケアマネジャー分科会共催でケアマネジメントに関する研修を開催します。

報告⑤区・8包括協働でインシデントを用いた事例検討会や講師を依頼し、研修を行いました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

計画①個別ケース地域ケア会議を地域のお他職種を交え開催し、地域の課題に合わせた研修を企画するとともに関係職種の連携推進に取り組みます。

報告①認知症・独居高齢者の見守りを中心に取上げ、個別地域ケア会議を2回実施しました。地域住民から積極的な意見が出て、「そろそろ、いよいよ」というキーワードを共有することができました。民生委員や地域住民とケアマネジャーの情報共有ができ、連携しやすくなりました。認知症キャラバンメイトや介護予防サポーターにも参加いただき、自身ができる支援について考える機会となりました。

計画②地域包括支援センターレベル地域ケア会議を開催し(堀睦地区・蒔田地区)、必要に応じて地域活動交流・生活支援コーディネーターと社会資源の創設を目指します。

報告②話し合いの中で上がった取組めそうなことを、更に地域住民、関係機関で話し合いの場を設け、具体的な活動を進めていきます。地域住民が見守る体制作りを視野に入れて取り組んでいきます。

(5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

計画①要支援者・総合事業対象者に対し、具体的な目標指向型のケアマネジメントを行い改善・向上・自立に向け支援していきます。

計画②介護保険の制度改正を受け情報収集に努め所内で情報共有します。

計画③介護保険制度外の社会資源を組み込んだ介護予防支援計画書を作成します。

報告①②③月1回以上包括部署内でミーティングをおこない利用者の情報共有・予防プランのマネジメントについて話し合いを行いました。介護保険の利用だけではなく、社会資源を取り入れたケアマネジメントの作成に努めました。

計画④委託を行うケアマネジャーとの連携強化のため、ケアマネジャー連絡会に積極的に参加します。区と南区8地域包括支援センターが共催で区内の居宅介護支援事業所向けに介護予防ケアマネジメント研修を開催します。

報告④ケアマネ連絡会に参加するとともに、担当者会議に出席し適切なマネジメントが出来るようアドバイスをしました。区内の居宅介護支援事業所向けに介護予防ケアマネジメント研修を開催し、介護予防事業についての講座を行いました。社会資源を取り入れたプラン作成に向けて富士山体操やコグニサイズ等を実際に体験してもらうことで理解を深めました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 計画①地域のサロン・食事会や高齢者住宅に出向き介護予防についての講座「こんにちは！ケアプラザ」事業を実施します。
- 報告①地域の食事会や高齢者住宅に出向き介護予防についての講座を行いました。継続して介護予防に取り組むことが出来るよう、介護予防講座や地域の活動グループの周知を行いました。
地域の担い手となる介護予防サポーターと共に活動し、サポーターの知識の向上、活動が広がるよう支援を行いました。
- 計画②地域の高齢者全般を対象とした「元気づくりステーション」の自主化となったグループの後方支援を行います。
- 報告②区と協同し理学療法士や運動療法士を招いて知識の向上に努めました。活動グループの評価、助言により活動内容の大切さを実感され、技術の再確認が行えました。
活動が活発に広がるよう、介護予防事業や地域の行事等で周知を行いました。
- 計画③地域住民の健康意識を高めるため栄養改善、口腔ケア、認知症予防教室等を開催します。
- 報告③ケアプラザ、コミュニティハウスに講師を招き、健康講座を高めるための講座を6回開催しました。出来るだけ多数の参加を目指し講座内容の工夫をし、地域の行事等で周知を行いました。
- 計画④ケアプラザを利用している介護予防に資する団体へ介護予防の知識の普及のための交流会・講座を開催します。
- 報告④グループ交流会を開催し運動療法士による講座、体操、グループの活動の意見交換を行いました。活動の大切さ、グループの中での声掛けの仕方や、活動の中で取り入れられる体操等も学ぶことが出来ました。それぞれのグループの活動内容も知り情報交換の場となり、人との交流、活動の継続の大切さを実感することが出来ました。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

計画①定期的な保守点検の実施：構築物、建築設備、電気、消防など各種法令に基づき定期的な保守点検を実施し、安全な施設運営を行います。

報告①構築物、建物設備、電気、消防設備等、法令に基づき定期的に実施しました。必要箇所については修繕を行い、区に報告致しました。

計画②定期的な清掃：職員による日常清掃の他に、障害雇用者の方や専門の外部業者に定期清掃を委託し、施設利用者が快適に過ごせるように努めます。

報告②外部業者による定期清掃、有償ボランティアによる外掃除や職員による日常清掃を継続しました。

報告③施設内外の点検：夜間帯は職員が2名体制で施設内外の巡回点検を行います。また年1回、外部業者による建築設備検査を実施します。

報告③安全チェックリストに基づき職員2名体制で施設内外の巡回点検を行いました。

計画④屋上植栽管理：専門業者による植栽の手入れを2ヶ月に1回行います。

報告④予定通り、実施しました。

★当施設は母子生活支援施設、老人デイサービス、児童発達支援事業・放課後等デイサービスとの複合施設です。

共有部分の管理は相互に協力し、年1回専門の業者の建物検査を受けています。

(2) 効率的な運営への取組について

計画①適切な予算管理を行います。

報告①法人本部、及び経理部門に相談しながら指定管理料に応じた適切な運営を行うため、多角的に状況を見ながら予算管理に努めました。

計画②効率的な物品購入に関しては必要性を考慮し価格・質を公平に判断します。

報告②見積もり合わせを行い業者を公平に選択して購入しました。

計画③省エネルギーに取り組みます。

④リサイクルへの取り組み：資源の有効活用や再利用に努めます。

報告③④節電に努め、外回りの掃除には雨水タンクを活用や封筒の再利用等省エネやリサイクルに取り組みました。

(3) 苦情受付体制について

計画①苦情解決対応の整備：法人の苦情解決規程に基づき、適切な対応をします。

報告①法人へのご意見・ご要望・苦情は受け付け担当者、解決責任者からなる苦情解決委員会において対応しました。結果については文書で回答いたしました。

計画②苦情申し立て方法を館内に掲示します。

報告②苦情受付担当者一覧や申し立て方法のフォロー図を館内に掲示しました。

計画③ご利用者からの意見を受け止めやすくする為、館内にご意見箱の設置や無記名アンケートを実施します。

報告③今年度は公衆電話に関するご意見を頂きました。

利用者アンケートの結果は地域包括支援センター・地域活動交流部門共に館内に掲示しております。

- ・ 苦情解決の仕組み；法人の苦情解決規程に基づきご意見・ご要望・苦情受付担当者解決責任者・第三者委員会による委員会で適切な対応をします。
- ・ 頂いた苦情やご意見は情報ラウンジに閲覧できるファイルを作り、公表しております。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

計画①事故発生時の対応の周知を行います。

報告①事故対応マニュアルに沿って法人本部、行政、各関係機関に報告、迅速に対応するよう周知しました。

計画②防犯への取り組み：職員による巡回、警備会社との委託契約を継続します。

報告②職員2名体制で毎日施設内外の巡回点検を行い、状況を記録しました。24時間稼働の防犯カメラ・出入り口のセンサーチャイムによる不審者の来館防止を行いました。

計画③防災への取り組み：避難訓練の実施、職員研修を行います。

報告③防災マニュアル、消防計画に沿って、年1回の複合施設合同避難訓練を管轄の蒔田消防出張所の指導の下、行いました。火災受信機の取扱い等の講習を定期的実施し職員の意識向上に努めました。

計画④特別避難場所指定施設としての意識を持つ

報告④災害時用備蓄品を特別避難場所用備蓄品とは別に整備します。

定期的な特別避難場所開設マニュアルの見直しや備蓄品の整備・管理を行い消費期限が過ぎたものを備蓄することが内容留意致しました。

(5) 事故防止への取組について

計画①事故防止の為の取り組みの充実を図る

報告①今年度ケアプラザ内では事故の発生はありませんでした。法人の他部署での事故や所長会で上がった事故報告などを職員会議や朝礼等で周知し事故防止に対する意識向上を図りました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

計画①個人情報漏洩防止への取り組みを徹底します。

報告①年度初頭に漏えい防止チェックシートによる自己点検を実施し、職員の意識向上、注意喚起を行いました。

- ・ 法人の個人情報保護規程に基づき作成したケアプラザ規程を、館内に掲示しました。
- ・ FAX送信は原則行わず、止むを得ず行う場合は送付先を予め短縮登録し、職員2名体制で送信し送信記録表に記載しました。
- ・ 郵送物は送付をする前に、必ず2名体制で宛先等確認致します。また個人情報に関する情報のデータ入力に関しても、2名体制で確認を行いました。利用票等の大量の書類は別室で振り分けを行い、他の書類と混同しないよう集中して作業を行いました。
- ・ 個人を特定出来る情報や個人ファイル等は施錠して、厳重な管理を行いました。
- ・ 事業所外への個人ファイルの持ち出しを原則禁止し、止むを得ず持ち出しが必要な場合は、所長又は事業部の管理者の許可を得て記録簿に記載しています。

(7) 情報公開への取組について

計画①開示請求への対応：ケアプラザに対する情報開示の請求がある場合は法人規程に則り、積極的に情報開示を行います。

②ケアプラザからの積極的な情報の発信

報告①②・ホームページには、貸館空き情報や睦通信を掲載し情報提供の継続を行いました。睦通信は関係機関、事業所、地域のスーパーや薬局・医療機関などに配布しました。

- ・事業計画や事業報告を掲載したファイルを情報ラウンジに置き、施設の運営状況を自由に閲覧できるようにしてあります。

(8) 人権啓発への取組について

計画①地域ケアプラザの職員として、人権問題について正しい知識と認識を深める様に努めます。

②人権をめぐる問題は複雑化・多様化している為、地域向けに研修を実施する等の人権啓発に繋がる取り組みを行います。

報告①②・横浜市人権施策基本指針を基に内部研修の実施を行い、また人権問題に関する資料等を館内に掲示する等、取り組みました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

計画①ゴミの削減や資源の有効活用に努めます。

報告①職員や来館者のゴミの持ち帰りを励行し、分別回収の徹底やゴミの減量を継続しました。

- ・地域の方の協力を得ながら、エコキャップ回収、古切手回収を継続し、エコ活動に貢献をします。近隣の障害者施設の通所者のかたが、定期的にキャップを届けて下さいました。
- ・コピー用紙は裏紙を積極的に活用し、使用済み封筒の再利用を継続しました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
看護師	1名（常勤）
主任ケアマネジャー	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤）
介護予防プランナー	1名（常勤）

《目標に対する成果等》

今年度の包括支援センターの全体目標

- ・社会資源の情報を更新・整理し最新の情報を提供できるよう努めます。
報告→情報ごとにファイルし、インフォーマルサービスや自費サービスについても必要時に利用者やケアマネジャーに情報提供できました。
- ・地域のニーズに合った、出張講座事業を身近な場所で実施を継続します。
報告→他部門と連携し、高齢者の食事会や交流会に出向き、介護予防・成年後見制度や介護保険制度について各専門職がミニ講座を行い、相談を受け付けました。
- ・第3期南区地域福祉保健計画：地区別計画に沿った自主事業を地域との連携を図りながら行います。
報告→介護予防に対する、事業を積極的に地域にPRするとともに、介護予防サポーターと共に企画し活動する場を広げました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 各々の職種がもつ専門的知識の向上を目指し研修を受講、報告書で共有し包括支援センター業務の対応能力向上に努めました。
- 委託事業所のケアマネジャーとの連携を強固するため、担当者会議には積極的に参加し介護予防教室の案内にも努めました。
- 地域活動交流部門・居宅介護支援センターと定期的に会議を開催し、情報共有を行いました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
182	190	189	188	188	194
10月	11月	12月	1月	2月	3月
186	191	188	193	188	186

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
主任ケアマネジャー	1名（常勤兼務1名）
ケアマネジャー	3名

《目標に対する成果等》

- ①積極的に研修を受講し、自己研鑽に励む
報告→月1回は外部研修や事例検討会に参加し、情報共有することができました。
- ②地域包括支援センターとの連携を深める為、連携会議や事例検討を定期的に開催する。
報告→毎月1回、地域包括支援センターと居宅介護支援センターの全職員で会議を開催し、困難ケースや行政からの情報を共有し担当者が不在時でも協力して対応しました。
- ②地域包括ケアシステムの構築に向け、地域資源、医療介護の連携、民生・児童委員や地域の方々と連携し地域ケアプラザの居宅介護部門としての役割を果たす。
報告→地域ケア会議に参加し、個別ケースを地域課題として捉えるよう努めました。今後、住み慣れた地域で医療、介護が連携し一貫したサービスを受けられる体制づくりに努めます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 利用者負担はありません。
- サービス提供地域を超える地域への訪問等を行う必要がある場合は、その交通機関の運賃実費の負担をお願いする場合があります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・地域の社会資源の情報提供（睦地域ケアプラザの広報紙やチラシの案内）を行い利用者だけではなくご家族の社会参加を促し、支援しました。
- ・介護保険外サービス（配食サービス・ちょこっとボランティア）、や地域の老人会のサロンや介護予防教室等を居宅介護支援計画書に位置づけました。
- ・虐待ケース及び困難ケース等は地域包括支援センター、区役所など関係機関と介護保険のサービス提供状況の情報共有を行いました。見守りを重視し、継続的に利用者及び家族の支援を行ないました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
116	117	120	124	122	120
10月	11月	12月	1月	2月	3月
120	113	112	104	105	107

平成29年度「陸地域ケアプラザ(施設名)」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,710,120	261,406	18,971,526	18,971,526	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	27,050	△ 27,050	男性の料理教室参加費、レインボーキッズ参加費 等 この列は入力しない
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	79,935	△ 79,935	
印刷代	0		0	79,935	△ 79,935	印刷代
自動販売機手数料	0		0	0	0	なし
駐車場利用料収入	0		0	0	0	なし
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	なし
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	18,710,120	261,406	18,971,526	19,078,511	△ 106,985	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,689,000	0	10,689,000	12,619,535	△ 1,930,535	
本俸	8,547,870		8,547,870	9,591,043	△ 1,043,173	本俸
社会保険料	800,000		800,000	1,074,056	△ 274,056	社会保険料
手当計	900,000		900,000	1,512,806	△ 612,806	手当計
健康診断費	41,130		41,130	41,130	0	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	退職給付引当金繰入金
その他	400,000		400,000	400,500	△ 500	その他
事務費	650,000	0	650,000	2,204,195	△ 1,554,195	
旅費	0		0	0	0	なし
消耗品費	175,500		175,500	284,515	△ 109,015	コピー用紙・文房具
会議随費	0		0	0	0	なし
印刷製本費	100,000		100,000	600,000	△ 500,000	ちらし、資料印刷
通信費	100,000		100,000	600,000	△ 500,000	電話代、切手、携帯、インターネット回線
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	なし
その他	0		0	0	0	なし
備品購入費	30,000		30,000	45,000	△ 15,000	電動自転車
図書購入費	0		0	0	0	なし
施設賠償責任保険	80,000		80,000	80,000	0	施設損害責任保険料
職員等研修費	10,000		10,000	10,000	0	受講料
振込手数料	3,000		3,000	3,000	0	振込手数料
リース料	80,000		80,000	250,000	△ 170,000	パソコン、コピーリース料
手数料	3,000		3,000	16,000	△ 13,000	点検割増手数料
地域協力費	63,500		63,500	63,500	0	賀詞交歓会会費
その他	5,000		5,000	252,180	△ 247,180	福利厚生、広告、会費
事業費	1,192,000	0	1,192,000	594,409	597,591	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算：指定額
指定管理料充当 事業	1,150,000		1,150,000	594,409	555,591	自主事業費
管理費	5,530,513	261,406	5,791,919	4,714,908	1,077,011	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	530,000	0	530,000	730,268	△ 200,268	光熱水費
電気料金	150,000		150,000	135,987	14,013	
ガス料金	350,000		350,000	334,949	15,051	
水道料金	30,000		30,000	259,332	△ 229,332	
清掃費	2,000,000		2,000,000	1,516,898	483,102	清掃費
修繕費	474,000	261,406	735,406	750,364	△ 14,958	予算：指定額
機械整備費	700,000		700,000	358,344	341,656	機械整備
設備保全費	1,826,513	0	1,826,513	1,359,034	467,479	
空調衛生設備保守	100,000		100,000	77,464	22,536	空調衛生設備
消防設備保守	100,000		100,000	68,256	31,744	証簿設備保守
電気設備保守	50,000		50,000	32,142	17,858	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	80,000		80,000	59,724	20,276	外注駆除清掃保守
駐車場設備保全費	0		0	0	0	なし
その他保全費	1,496,513		1,496,513	1,121,448	375,065	屋上緑化、エレベーター、自動ドア
共益費	0		0	0	0	なし
その他	0		0	0	0	なし
公租公課	855,120	0	855,120	1,009,562	△ 154,442	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	855,120		855,120	1,009,562	△ 154,442	消費税
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
リース対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	18,916,633	261,406	19,178,039	21,142,609	△ 1,964,570	
差引	△ 206,513	0	△ 206,513	△ 2,064,098	1,857,585	

自主事業費収入	1,150,000		1,150,000	27,050	1,122,950	予算：指定管理料を含む
自主事業費支出	1,150,000		1,150,000	594,409	555,591	
自主事業収支	0	0	0	△ 567,359	567,359	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成29年度「陸地域ケアプラザ(施設名)」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,273,000	0	23,273,000	23,273,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000	0	151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入	0	0	0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0	0	0	0	0	なし
指定管理料充当事業(介護予防)	0	0	0	0	0	なし
指定管理料充当事業(生活支援)	0	0	0	12,500	△ 12,500	参加費
自主事業収入	0	0	0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	なし
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	なし
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	なし
その他(指定管理充充分)	0	0	0	0	0	なし
その他(提案時控除 法人負担分)	0	0	0	0	0	
収入合計	29,213,000	0	29,213,000	29,225,500	△ 12,500	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,519,000	0	25,519,000	22,204,952	3,314,048	
本俸	18,173,494	0	18,173,494	14,887,577	3,285,917	本俸
社会保険料	2,800,000	0	2,800,000	2,771,869	28,131	社会保険料
手当計	3,703,376	0	3,703,376	3,703,376	0	手当計
健康診断費	41,130	0	41,130	41,130	0	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	なし
その他	801,000	0	801,000	801,000	0	その他
事務費	360,000	0	360,000	1,072,902	△ 712,902	
旅費	5,000	0	5,000	8,000	△ 3,000	交通費
消耗品費	100,000	0	100,000	301,401	△ 201,401	コピー用紙、文房具
会議随費	0	0	0	4,503	△ 4,503	お茶代
印刷製本費	5,000	0	5,000	20,000	△ 15,000	ちらし、資料印刷代
通信費	50,000	0	50,000	300,000	△ 250,000	電話代、切手、携帯、インターネット回線
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	なし
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	なし
備品購入費	20,000	0	20,000	45,000	△ 25,000	電動自転車
図書購入費	0	0	0	0	0	なし
施設賠償責任保険	10,000	0	10,000	70,000	△ 60,000	施設賠償責任保険料
職員等研修費	10,000	0	10,000	43,730	△ 33,730	受講料
振込手数料	0	0	0	3,000	△ 3,000	振り込手数料
リース料	100,000	0	100,000	198,768	△ 98,768	パソコン、コピー機リース
手数料	6,000	0	6,000	0	6,000	なし
地域協力費	5,000	0	5,000	8,500	△ 3,500	賀詞交歓会会費
その他	49,000	0	49,000	70,000	△ 21,000	福利厚生・広告・会費
事業費	1,868,000	0	1,868,000	834,188	1,033,812	
協力医	483,000	0	483,000	483,000	0	予算:指定額
指定管理料充自主事業(包括)	925,000	0	925,000	40,000	885,000	予算:指定額
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000	0	151,000	151,000	0	予算:指定額
指定管理料充自主事業(生活支援)	309,000	0	309,000	160,188	148,812	予算:指定額
管理費	1,466,000	0	1,466,000	1,179,861	286,139	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	予算:指定額
光熱水費	200,000	0	200,000	194,121	5,879	光熱水費
電気料金	80,000	0	80,000	91,378	△ 11,378	
ガス料金	70,000	0	70,000	35,831	34,169	
水道料金	50,000	0	50,000	66,912	△ 16,912	
清掃費	926,845	0	926,845	403,225	523,620	清掃費
修繕費	126,000	0	126,000	126,000	0	予算:指定額
機械警備費	50,000	0	50,000	95,256	△ 45,256	機械警備費
設備保全費	163,155	0	163,155	361,259	△ 198,104	
空調衛生設備保守	20,591	0	20,591	20,591	0	空調衛生設備
消防設備保守	18,144	0	18,144	18,144	0	消防設備保守
電気設備保守	8,544	0	8,544	8,544	0	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	15,876	0	15,876	15,876	0	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	なし
その他保全費	100,000	0	100,000	298,104	△ 198,104	屋上緑化、自動ドア
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他()	0	0	0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ス対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	29,213,000	0	29,213,000	25,291,903	3,921,097	
差引	0	0	0	3,933,597	△ 3,933,597	

自主事業費収入	1,385,000			12,500		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	1,385,000			351,188		
自主事業収支	0			△ 338,688		⇒自主事業(指定管理料充自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名：睦地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位：千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
		収入	介護保険収入	0	25073
	その他	4947	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント 費	4947	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	4947	25073	0	0
支出	人件費	3049	16469	0	0
	事務費	0	1118	0	0
	事業費	0	336	0	0
	管理費	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	支出合計(B)	3049	17923	0	0
	収支 (A) - (B)	1898	7150	0	0

平成29年度 自主事業報告書

横浜市睦地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こんにちは！ ケアプラザ	目的：ケアプラザの周知活動・介護予防 内容：地域の高齢者食事会・催しに出向き、介護予防講座や事業の案内や相談を受け付ける。	2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちょこっと ボランティア	目的：既存の制度では、解決できない地域の困りごとを解決できるような仕組みを作る。 内容：ケアプラザを経由しての活動は、更生施設民衆館による屋外の草むしりのみを提供。直接、地域からの依頼に対しては、民衆館の判断により実施。屋外作業のみで活動。	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場	目的：エリア内に親子の居場所を創生する。 内容：0歳～未就園児の親子が、仲間と交流して安心して過ごせる居場所を創る。 参加者のニーズに合わせ講座を企画開催する（リトミック等の体操）。	毎月第3 月曜日 午前10時～ 11時30分

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁クラブ	目的：引きこもりがちな高齢男性の参加を促す。 内容：毎週木曜日にケアプラザにて、囲碁を楽しむことでの外出を促す。地域住民同士が交流する機会を設け、考える事での介護予防の効果を生み出す。	毎週 木曜日

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
初めての離乳食 レッスン	目的：離乳食の正しい作り方を学び、インスタントに頼らない健康的な食生活をPRする。 内容：南区福祉保健課健康づくり係と南区ヘルスメイトの協力にて開催。出汁の取り方や大人と一緒に子どもの食事を作っての負担軽減の方法などを説明。インスタントに頼らない健康な食事の方法を提案。	年1回 2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第11回 睦地域 ケアプラザ&睦 ハイム合同祭	目的：地域連携・ネットワーク作り、地区社協自身のコーディネート力の増強 内容：ケアプラザ周年祭が、地域のイベントとなり、地域住民と共に開催できるネットワーク構築を目指す貸館利用者・地域住民が企画段階から参加し、ボランティア担い手として、主体的に活動できる様に支援する。今年度は、堀睦地区社協の趣味の作品展と合同開催。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン支援	目的：サロン活動の継続支援 内容：地域で活動中のサロン（むつみ茶屋・ふれあいサロン・らくらくサロン等）の支援、新規サロンの立ち上げ支援	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者虐待講座	目的：高齢者虐待の早期発見、啓発 内容：高齢者虐待防止のスライド資料をもと民生委員児童協議会にて早期発見に向け講座を行う。	7月 1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
レインボーキッズ	目的：知的障害児の余暇支援 内容：ダンスや体操を通じて楽しみながら体力作りと余暇の充実を行なう。保護者同士の交流を図る。障がいのある方が参加出来る場の創設。	年20回 開催 第3土曜日＋ いずれかの土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
相続・遺言講座	目的：「いざという時」のため、相続・遺言について学ぶ 内容：地域住民向けに司法書士会から講師を招き、講義を行う。エンディングノートの配布と使い方について説明する。	12月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がいのある方と地域の交流事業	目的：エリア内作業所に通う障がい者と地域住民が顔見知りとなる。地域においての障がいに関する啓発活動。障がいのある方の社会参加の場の創設を目的とする。 内容：地域で行われているサロン等でボランティア活動を通じて地域住民とのコミュニケーションの場を提供する。障がいを持つ方の社会参加を通じて出来る事の可能性を見つけ出す。	蒔田地区高齢サロン：月2回 堀陸地区サロン：月1回 子育てサロン：月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきシニア塾	目的：高齢者介護予防・地域高齢サロン支援 内容：介護予防として開催。様々な講師で行い、自分に合った体操を行うことで、長続きする体操を選ぶ。	毎月第2 火曜日開催

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
エコキャップ ボランティア会	目的：エコ・リサイクル活動実施・啓発活動 内容：古切手・エコキャップ・プルタブ分別の機会を 設け、地域住民のボランティア参加を推進する。 また、エコ・リサイクルへの意識向上を図る。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
見て！触って！ 食して！体験型 防災サロン	目的：東日本大震災のあった3月を機会に防災・災害に対 しての関心を高めてもらう。かかわるスタッフに も必要な知識を身に付けてもらい、参加者の対応 力の強化も考える。 内容：災害に被災した時に役立つ知識と普段からの備蓄 の必要性が分かるように紙食器の作り方や兵児帯 の使い方、子どもを背負っての煙体験、実際の非 常食の試食などを行う。	2月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
やさしい障がい 理解講座 inみなみ 2018	目的：区内において障がいの理解の啓発と他の福祉施設 との連携の強化を行い、より効果のある啓発活動 が行えるようにする。南区内の地区社協や福祉施 設と協働することで、福祉施設への啓発も兼ねる。 内容：行動パターンなどの例を挙げ障がいのある当事者 による講義を行う。後半に前半で学んだ講義の内 容の理解が進むようにゲームや工作などを通じて 実際にふれ合うことで理解を深める。	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わいわい食堂	目的：子どもの居場所、貧困の子どもへの食事による栄 養を補うことを目的に開催。貧困の子どもだけを 対象に開催するとマイナスイメージが付く事から 、貧困以外の子どもも対象として大きく募集して での居場所をつくる。地域住民の担い手を育てる ことで地域で活躍する人材の育成も行う。 内容：子どもに対して安価にて食事を提供。遊びの場や 体験の場としての居場所を行っている。親が教え ることが出来ない内容の経験も行われている。 様々な世代が集まるため、自然に異世代交流が行 われている。	毎月 第3土曜日 年12回開催

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で参加！ 手作り味噌体 験講座	目的：地域の優れた技術を持つ方の生活の知恵の継承 内容：講座を通じて、若年層の地域住民に知識を伝えつつ、異世代交流を図りながら地域住民同士が交流出来る場作り。親子参加で行う。	年1回 2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
産後のボディケ ア講座	目的：産後の母親のダイエット、運動不足解消、将来における骨盤底筋の緩みによる尿失禁防止などの健康作りを行う。産後の女性の参加を狙いとし、普段ケアプラザに足を運ばない人をターゲットに集客する。継続的なコース開催を行う。子育て広場やその他子育て関連の事業へ繋げる。 内容：尿漏れ防止の体操を行っている講師を招き、引き締めるための運動を行う。隙間の時間で自宅でも出来る運動の紹介を行う。	8月・9月 合計4回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
むつみ健康麻雀	目的：高齢男性の引きこもり防止と高齢女性のニーズから開催。指先を使う事での脳活性化を行う。地域限定募集として開催する。麻雀を覚えてもらい、他で行われている麻雀サークルに参加出来るようになって出掛ける機会を作る。ケアプラザ事業の担い手となりそうな人材を見つける。 内容：ルールが分からない人や全く触った事のない人に対して地域のボランティアが講義を行う。ある程度の経験がある人に対しては、麻雀を通じて地域での顔見知りの関係になってもらう。交代で打つことで様々な人との顔見知りとなる。	毎月第1日曜日 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらく脳トレ 講座	目的：高齢サロンとして高齢者があつまる場を提供。あつまる場に通う習慣を作り出す事で、堀睦地区社協へアピールの一つとしても行う。脳トレの効果を知ってもらうこと、ケアプラザ利用者の増加、社会資源の中で活躍してもらう講師の開拓。シニア塾の脳トレ部門を分けることで、参加しやすくする。 内容：地域の中で仕事として講師を行っている方を講師に招き脳トレを行う。	5月、8月 11月、3月 年4回 開催

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男性の料理教室	<p>目的：参加者を定年退職した男性とし、楽しみの一つ・仲間づくり・外出のきっかけ作りとして、出かけることで引きこもりを防止する。いずれは、高齢者サロンや食事会などを主催・手伝いが出来る団体結成も目的とする。</p> <p>内容：講師を招き、男性一人でも食事が作れるようなメニューで講義を行う。参加者へ希望の内容を伝えてもらいなるべく希望に沿ったメニューで行う。</p>	毎月第1木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おいしいコーヒーの淹れ方講座	<p>目的：高齢者（特に男性）の活躍の場として、移動喫茶やサロンでのコーヒー提供の団体を作る。これから出来るとされるサロンなどの担い手の一つになれるようにする。</p> <p>内容：初回は、講師を招いての講義を行う。希望者を募り月1回練習会を行う。さまざまな条件で抽出したコーヒーで味比べを行い、合ったコーヒーの淹れ方を探す。地域のサロンなどで振るまう。</p>	毎月 第2月曜日 開催 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
むつみ理科クラブ	<p>目的：理科離れが進んでいる中、科学の体験をしてもらうことで、興味を持ってもらう。普段から出入りの少ない小学生に対し、理科教室を通じてケアプラザを知ってもらう。地区社協、ケアプラザ事業などにも参加してもらえるようにPRする。近所で何か有った場合でもケアプラザで相談出来るような環境を作る。</p> <p>内容：戸塚にある日立理科クラブに講師を依頼。グループに指導員付き講義にあたる。</p>	年1回 11月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初めてのスマートフォン講座 防災スマートフォン講座	<p>目的：高齢者のスマートフォン使用の増加に伴い、ケアプラザでも質問を受ける機会が増えた。同時に講座を行って欲しいとの声も多く聞かれるようになったため開催する。普段足を運ばない人にケアプラザを知ってもらうことで、貸し館稼働率の向上に繋げる。</p> <p>内容 KDDIの講師を招き正しいスマートフォンの使い方についての講義を行う。持っていても使い方が分からない人を対象に災害に対応するアプリの使い方を説明する。</p>	年1回ずつ 4月に開催

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
幼児食講座	<p>目的：正しい食生活を伝えることでの食育啓発を行い、健康に成長して行けるように講義を行う。</p> <p>内容：アサヒグループのCSRにて乳幼児期の正しい食事について講義を行う。月齢に応じての正しい食事や母親の負担軽減のためのアイデアなどの提供を行う。</p>	年1回 1月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
災害時の幼児の食	<p>目的：災害弱者（乳幼児・子育て中の母親・高齢者）など食べ方が限定された人でも非常時に食べられるように工夫について説明する。非常食を美味しく食べる方法を伝えることで、入れ替え時に捨てることなく食品ロスの軽減も図る。</p> <p>内容：南区健康づくり係と南区ヘルスメイトの協力により開催。ローリングストックの説明や非常食の再利用方法について学ぶ。</p>	年1回 1月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
むつみ歌声広場	<p>目的：歌を歌い楽しむことで、介護予防と引きこもり防止、交友関係の拡大化を目的に行う。また他の歌の団体との交流も深め合うことで、お互いを高める作用を狙う。自主化を慎重に考え長く続く会とする。</p> <p>内容：地域の歌の会を行っている人を講師として招く。大きなスクリーンに映写することで俯くことなく顔を上げて歌う。</p>	毎月 第1木曜日 11回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
平成29年度「スリーA研修会」	<p>目的：新規メンバー及び既存メンバーの『スリーA』の基本的な理念の理解と支援者の育成。</p> <p>内容：認知症予防を目的とした脳の活性化と脳のリハビリ『スリーA』を地域へ広める支援者の研修。</p>	4月・1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「スマイルの会」	目的：①認知症の発症と進行を遅らせる。 ②認知症になっても、今までと変わらずに過ごす。 ③認知症の方を優しく見守り支えるあたたかい仲間づくりと地域づくり。 内容：脳の活性化と脳のリハビリ『スリーA』を地域へ広める活動。	毎月 第4火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「睦オレンジ」	目的：認知症になっても安心して暮らせる地域づくり、町づくり。「支え合い」「助け合い」「つながり合い」の地域共生を目指す。 内容：認知症キャラバンメイトの会。地域、学校、職場にて「認知症サポーター養成講座」の企画、開催。	毎月 第4火曜日

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 横浜市陸地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額						
		総経費	収入			支出		
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
ちょこつとボランティア	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0
	②78人		包括					
	③0円		生活					
子育て広場	①未就園児と保護者	10,352	地活	10,352	0	0	9,000	1,352
	②188人		包括					
	③0円		生活					
囲碁クラブ	①主に高齢者	0	地活	0	0	0	0	0
	②157人		包括					
	③0円		生活					
初めての離乳食レッスン	①乳幼児とその保護者	0	地活	0	0	0	0	0
	②31人		包括					
	③0円		生活					
第11回 陸地域ケアプラザ&陸ハイム合同祭	①地域住民	100,000	地活	100,000	0	0	0	95,894
	②602人		包括			4,106		
	③-		生活					
むつみ茶屋サロン運営	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②1,246人		包括					
	③-		生活					
レインボーキッズ	①障がいのある小学生と保護者	60,435	地活	51,735	8,700	0	52,500	7,935
	②225人		包括					
	③100円		生活					
障がいのある方と地域交流事業	①作業所利用者	0	地活	0	0	0	0	0
	②114人		包括					
	③0円		生活					
いきいきシニア塾	①高齢者	65,164	地活	65,164	0	0	65,000	164
	②142人		包括					
	③0円		生活					
エコキャップボランティア会	①地域住民・作業所利用者	0	地活	0	0	0	0	0
	②37人		包括					
	③0円		生活					
見て！触って！食して！体験型防災サロン	①乳幼児とその保護者	0	地活	0	0	0	0	0
	②65人		包括					
	③0円		生活					
やさしい障がい理解講座 inみなみ2018	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②71人		包括					
	③0円		生活					
わいわい食堂	①18歳以下の子ども	0	地活	0	0	0	0	0
	②545人		包括					
	③100円		生活					
味噌作り講座	①親子	14,210	地活	8,610	5,600	0	0	7,050
	②14人		包括					
	③700円		生活					
産後のボディケア講座	①生後間もない子どもを持つ親子	55,400	地活	55,400	0	0	28,000	27,400
	②106人		包括					
	③0円		生活					
むつみ健康麻雀	①中年・高齢者	84,020	地活	84,020	0	0	0	84,020
	②112人		包括					
	③0円		生活					
らくらく脳トレ講座	①高齢者	20,000	地活	20,000	0	0	20,000	0
	②41人		包括					
	③0円		生活					

平成29年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
男性の料理教室	①高齢男性	116,598	地活	48,053	12,750	0	35,000	19,976	5,827
	②80人		包括						
	③500円		生活	43,295					
コーヒーの淹れ方講座	①高齢者	50,025	地活	50,025	0	0	19,500	2,269	28,256
	②36人		包括						
	③0円		生活						
むつみ理科クラブ	①小学生	24,000	地活	24,000	0	0	0	24,000	0
	②36人		包括						
	③0円		生活						
初めてのスマートフォン講座 防災スマートフォン講座	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②31人		包括						
	③0円		生活						
幼児食講座	①乳幼児と養育者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②40人		包括						
	③0円		生活						
災害時の幼児の食	①乳幼児と養育者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②41人		包括						
	③0円		生活						
むつみ歌声広場	①地域住民	50,000	地活	50,000	0	0	50,000	0	0
	②213人		包括						
	③0円		生活						
		650,204		610,654	39,550	0	314,000	77,487	258,717

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 横浜市睦地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
こんにちは！ケアプラザ	①高齢者	5,000	地活	5000	0	0	0	0	5,000
	②50人		包括						
	③0円		生活						
相続・遺言講座	①地域住民・高齢者	10,000	地活	10000	0	0	0	0	10,000
	②16人		包括						
	③0円		生活						
ケアマネ連絡会 (研修含む)	①ケアマネジャー	20,000	地活	20000	0	0	0	0	20,000
	②50人		包括						
	③0円		生活						
地域ケア会議	①地域住民・高齢者	5,000	地活	5000	0	0	0	0	5,000
	②70人		包括						
	③0円		生活						
		40,000		40,000	0	0	0	0	40,000

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 横浜市睦地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
地域アセスメント	①地域住民・高齢者	78,179	地活						
	②39人(延べ)		包括						
	③0円		生活	78,179	0	0	30,000	0	48,179
「スマイルの会」	①地域住民・高齢者	26,214	地活						
	②55人		包括						
	③0円		生活	26,214	0	0	0	0	26,214
「睦オレンジ」	①地域住民・高齢者	0	地活						
	②65人		包括						
	③0円		生活	0	0	0	0	0	0
		104,393		104,393	0	0	30,000	0	74,393